



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月6日

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2911 URL <https://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下博隆
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立恵 (TEL) 06-6306-4121
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 5,944	% △3.2	百万円 125	% △31.3	百万円 231	% △8.4	百万円 228	% 19.7
2025年3月期第3四半期	6,138	△1.8	182	△4.6	252	4.2	190	△4.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 195百万円(△10.8%) 2025年3月期第3四半期 219百万円(△37.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 123.23	—
2025年3月期第3四半期	103.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 10,618	百万円 8,333	% 78.5
2025年3月期	10,234	8,265	80.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 8,333百万円 2025年3月期 8,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 35.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2026年3月期(予想)の修正につきましては、記念配当10円00銭を含んでおります。詳細につきましては、本日(2026年2月6日)公表の「2026年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(創業75周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 7,800	% △2.7	百万円 100	% △55.7	百万円 200	% △35.0	百万円 250	% 4.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年2月6日)公表の「2026年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正(創業75周年記念配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社 (社名) 、除外 2社 (社名) 青島旭松康大食品有限公司ほか1社

(注) 詳細につきましては、添付資料P. 8記載の（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	1,876,588株	2025年3月期	1,876,588株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	18,620株	2025年3月期	27,977株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	1,854,235株	2025年3月期 3Q	1,845,870株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況」の「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調がみられた一方、円安基調により原材料価格は高止まっており物流費・人件費の更なる上昇なども相まった物価上昇により消費者の節約志向はますます高まっています。また、地政学上のリスクの高まりによる景気の下振れなど不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、輸入原材料等の調達コストの高止まりや、物流費・人件費などの上昇の影響から、価格改定を実施する企業は多く、消費者の節約意識も高まっています。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでは継続して品質向上に取り組むとともに商品の付加価値向上や、その広報に努めています。製造原価の上昇は避けて通ることができませんが、収益面への影響を抑えるため引き続き合理化、省力化、経費削減施策を実施しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、前連結会計年度の価格改定の影響もあり販売数量の減少がみられ、売上高は、59億4千4百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。利益面では、販売数量の減少に加え、原材料の高止まりや人件費の増加などによる製造コスト等の上昇の影響が大きく、引き続き合理化や諸経費の削減を図ってまいりましたが、営業利益は1億2千5百万円（同31.3%減）、経常利益は2億3千1百万円（同8.4%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は連結子会社への出資金を一部譲渡し特別利益を計上したことなどから2億2千8百万円（同19.7%増）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、業界トップシェアの「新あさひ豆腐」のブランドサイトを立ち上げ、健康機能性での特徴や美味しさ、品質面でのこだわりなどの広報活動を行ってまいりました。子どもの成長に欠かせない栄養素を豊富に含む高野豆腐を日常の生活に“手軽で簡単”に取り入れられる点や、一般的な高野豆腐と比べ95%減塩に成功した“健康機能性への取り組み”が「子育てファミリーの支援につながる」として一般社団法人日本子育て支援協会主催の「第6回日本子育て支援大賞2025」を受賞いたしました。また、大阪・関西万博での災害対策備品として、お湯を注ぐだけで食べられる簡単・便利なカップタイプの商品を協賛いたしました。そのほか、凍豆腐の最需要期となる年末に向け11月よりテレビコマーシャルを実施し、高野豆腐の認知を高め需要喚起につなげるよう努めましたが、過年度からの価格改定などの影響から販売数量が減少し、売上高は26億2千6百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、継続して単品収益管理を徹底し収益力の向上と商品改廃のスピードアップを図っており、大手流通等との企画商品の開発・発売やリニューアルを行ったほか、12月には「カップ生みそずいとん汁」などがメディアに大きく取り上げられ話題となりましたが、販売数量の減少などにより、売上高は17億7千7百万円（同1.3%減）となりました。

[その他食料品]

その他食料品のうち医療用食材については、えん下困難者向けの調理済み・形態調整済み食品として豊富なメニューを取り揃え、病院・介護施設での厨房業務の省力化や標準化、人手不足の解消などに寄与しております。さらに最新の製造設備を導入し、美味しさや安全性などを向上させた商品に順次切り替え拡販に努めましたが、その他食料品全体では、売上高は15億3千9百万円（同2.5%減）と減少いたしました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度に比べ3億8千4百万円増加し106億1千8百万円（前連結会計年度比3.8%増）となりました。減少の要因としては、現金及び預金の減少1億9千7百万円や有形固定資産の減少1億4千7百万円などがあり、増加の要因としては、最需要期での販売増による売掛金の増加3億8千万円や時価評価による投資有価証券の増加3億6百万円などが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度に比べ3億1千6百万円増加し22億8千4百万円（同16.1%増）となりました。減少の要因としては、設備関係支払手形の減少8千9百万円や賞与引当金の減少3千万円などがあり、増加の要因としては、電子記録債務の増加1億3千5百万円や短期借入金の増加2千4百万円、長期借入金の増加8千2百万円、繰延税金負債の増加1億2千2百万円などが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間の純資産合計は、前連結会計年度に比べ6千7百万円増加し83億3千3百万円（同0.8%増）となりました。減少の要因としては、海外子会社の連結除外による為替換算調整勘定の減少2億2千4百万円や非支配株主持分の減少7千4百万円があり、増加の要因としては、利益剰余金の増加1億3千1百万円やその他有価証券評価差額金の増加2億1千4百万円などが主な要因です。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ1.5ポイント減少し78.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日に「2025年3月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日（2026年2月6日）公表いたしました「2026年3月期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（創業75周年記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,098,381	1,900,882
売掛金	1,342,313	1,722,572
棚卸資産	1,535,843	1,507,299
その他	50,311	99,175
流动資産合計	5,026,849	5,229,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,096,001	5,730,703
減価償却累計額	△5,100,877	△4,899,349
建物及び構築物（純額）	995,123	831,353
機械装置及び運搬具	7,530,081	7,442,523
減価償却累計額	△6,266,890	△6,118,663
機械装置及び運搬具（純額）	1,263,191	1,323,859
土地	1,703,573	1,704,098
リース資産	210,905	153,419
減価償却累計額	△139,006	△97,491
リース資産（純額）	71,898	55,927
建設仮勘定	58,912	21,277
その他	487,188	473,976
減価償却累計額	△409,229	△387,623
その他（純額）	77,958	86,352
有形固定資産合計	4,170,658	4,022,870
無形固定資産	149,407	107,545
投資その他の資産		
投資有価証券	847,388	1,154,139
繰延税金資産	3,138	1,317
その他	36,967	102,871
投資その他の資産合計	887,494	1,258,329
固定資産合計	5,207,560	5,388,744
資産合計	10,234,410	10,618,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	432,734	422,825
電子記録債務	124,421	260,266
短期借入金	219,230	243,540
リース債務	30,801	27,064
未払金	196,305	216,450
未払法人税等	32,718	65,182
賞与引当金	62,626	32,540
設備関係支払手形	89,762	-
その他	122,905	170,923
流動負債合計	1,311,506	1,438,794
固定負債		
長期借入金	432,100	514,974
リース債務	49,728	35,627
長期未払金	31,620	32,487
繰延税金負債	87,863	210,171
資産除去債務	48,897	46,223
その他	6,900	6,700
固定負債合計	657,108	846,184
負債合計	1,968,615	2,284,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,633,518	1,634,249
利益剰余金	4,525,825	4,657,372
自己株式	△60,905	△40,536
株主資本合計	7,716,282	7,868,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,545	464,767
為替換算調整勘定	224,600	-
その他の包括利益累計額合計	475,145	464,767
非支配株主持分	74,366	-
純資産合計	8,265,795	8,333,696
負債純資産合計	10,234,410	10,618,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,138,581	5,944,110
売上原価	4,374,532	4,273,291
売上総利益	1,764,049	1,670,818
販売費及び一般管理費	1,581,430	1,545,296
営業利益	182,618	125,522
営業外収益		
受取利息	4,281	7,746
受取配当金	20,778	30,080
受取貸料	3,403	3,258
受取保険金	979	-
受取技術料	37,566	39,590
補助金収入	1,880	22,374
雑収入	8,006	9,366
営業外収益合計	76,894	112,415
営業外費用		
支払利息	3,303	4,334
賃貸収入原価	2,527	1,784
雑損失	1,352	629
営業外費用合計	7,184	6,748
経常利益	252,329	231,188
特別利益		
固定資産売却益	5,126	5,086
関係会社出資金譲渡益	-	164,920
特別利益合計	5,126	170,007
特別損失		
固定資産除却損	6,328	3,874
固定資産処分損	-	17,841
特別損失合計	6,328	21,715
税金等調整前四半期純利益	251,127	379,481
法人税、住民税及び事業税	45,890	113,845
法人税等調整額	12,421	34,656
法人税等合計	58,312	148,502
四半期純利益	192,815	230,978
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,869	2,473
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,945	228,505

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	192,815	230,978
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,892	214,222
為替換算調整勘定	15,583	△249,556
その他の包括利益合計	26,476	△35,333
四半期包括利益	219,291	195,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,864	218,126
非支配株主に係る四半期包括利益	3,427	△22,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結会計期間において、青島旭松康大食品有限公司および青島旭松康大進出口有限公司について、共同出資者である青島康大控股集团有限公司へ持分譲渡を行ったため、連結の範囲から除外しております。なお、譲渡前の持分割合は90.0%であり譲渡後の持分割合は19.5%であります。

(セグメント情報等)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	352,671千円	372,175千円